

速乾一液弱溶剤形変性エポキシさび止め塗料

ザウルスEX II

系 統 速乾一液弱溶剤形変性エポキシさび止め塗料

適用規格 JPMS28 一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント
* 主な適用素材参照

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- ターペン希釈が可能で、旧塗膜適性が広いです。
- 幅広い上塗り適性があります。
- 有害な鉛を含まないさび止め塗料です。
- JIS K 5625と同等以上の防錆力があります。
- 一液速乾形であり、作業効率が良好です。
- 低臭気で塗装作業性に優れています。
- 内外部に幅広く適用できます

塗装条件

塗装方法	は け	ローラー	エアレス スプレー		
希 積 率	0~10%	0~10%	5~15%		
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.13	0.13	0.17		
希 積 剤	塗料用シンナーA				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。
公共建築工事標準仕様書の塗付け量は0.10kg/m²です。

塗装間隔

		温 度	23℃	
標準塗装間隔	最 短	4 時間		
	最 長	7 日		
使用時 限		—		

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	4kg、16kg * 黒さび色 16kgのみ
2 混 合 比	—
3 色	白、赤さび色、グレー(25-80A近似)、 黒さび色、淡彩色(調色対応)
4 つ や	つや消し
5 仕 上 が り 感	平 滑
6 塗 料 比 重	1.46(赤さび色)
7 溶 剤 比 重	0.82
8 加 熱 残 分	71%(赤さび色)
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	イソプロピルアルコール キシレン エチルベンゼン イソブチルアルコール メタノール
11 有 機 則 / 特 化 則	第2種有機溶剤等
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	第4類 第2石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

主な適用素材

鉄、トタン、化成処理亜鉛鋼板
* 公共建築工事標準仕様書(新設)の亜鉛メッキ鋼面では使用できません。

主な適用下塗塗料

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

セラMレタン、アレスエコレタンⅡ、セラMシリコンⅢ、コスモマイルドシリコンⅡ、パワーホルスF4、SDホルスF4、アレスネクストⅢ、スーパーシリコンルーフペイント、ACルーフペイントリッチ、SDルーフペイント、アレスレタン(注7)など

使用上の注意事項

- 塗装時や塗料取り扱い時は、換気を行ない火気厳禁として下さい。
- 皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、水洗いして下さい。
- 被塗面の油・湿気・塵埃・さび・浮いた旧塗膜などは完全に除去してから塗装して下さい。
- アレスセラマイルドグロスなどのNADアクリル形旧塗膜上に塗装しないで下さい。ワレる場合があります。
- クロム酸塩処理された溶融亜鉛メッキ鋼板は塗装には適しません。
- 新設のどぶ漬け亜鉛メッキ鋼板上への塗装は付着性、耐久性に優れる下塗り(エポマリンGXなど)をご使用ください。
- アレスレタンを塗装する場合は、23℃では8時間以上、5℃では24時間以上のインターバルが必要です。
その他の適用上塗りについては、別途お問い合わせ下さい。
- はけ・ローラーなどの塗装用具は、ラッカーシンナーで洗浄して下さい。
- コンクリート・モルタルなどのアルカリ性素材への塗装は避けて下さい。
- 塗料が染み込んだウエスは必ず焼却するか、水の入った容器に入れて処理して下さい。
- 換気の良い場所で取り扱い、容器はその都度密栓して下さい。
- その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい
-

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

* 本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。